

アリスタ通信 第58号



日頃より「アリスタ通信」をご愛読いただきありがとうございます。

アリスタ ライフサイエンスは、天敵昆虫、微生物農薬、化学農薬、マルハナバチ、バイオスティミュラントなどの資材を組み合わせる ICM を提唱しています。

今号は、高温・乾燥対策に画期的な農業用土壌改良資材「ZEBA(ゼバ)」新発売のお知らせや、2種類のキャンペーンのお知らせ、そして3剤の適用拡大のお知らせなどを掲載しております。

これらの情報を通じて生産者の皆さんに役立つ生産資材を提供し、農産物の生産に貢献したいと考えています。

アリスタ ライフサイエンス(株) マーケティング本部長 田中 栄嗣

<目次>

お知らせ

[UPL が、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス 及び ダウ・ジョーンズ・エマージング・マーケット・インデックスに農業会社で初めて採用されました](#) P.2

[「オルトラン® 愛されて50年キャンペーン」実施中!](#) P.3

[「アリスタ 春のBSキャンペーン」実施中!](#) P.4

[「ゼバ \(ZEBA®\)」発売のお知らせ](#) P.5

[適用拡大のお知らせ](#) P.6

[バイオスティミュラントとは? 分かりやすく説明すると](#) P.9

[さいごに](#) P.11

<お知らせ>

★ UPL が、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス (DJSI) 及び ダウ・ジョーンズ・エマージング・マーケット・インデックス に 農薬会社で初めて採用されました
UPL グループ会社の一員である、アリスタ ライフサイエンス(株) にも益々ご期待ください！

英国ロンドン、2023 年 12 月 12 日、UPL Ltd.は、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス と ダウ・ジョーンズ・エマージング・マーケット・インデックス の両方に選ばれたことを発表しました。これらの権威あるグローバル・インデックスは、持続可能性のパフォーマンスにおいて最も優れた企業のみを選出の対象としています。

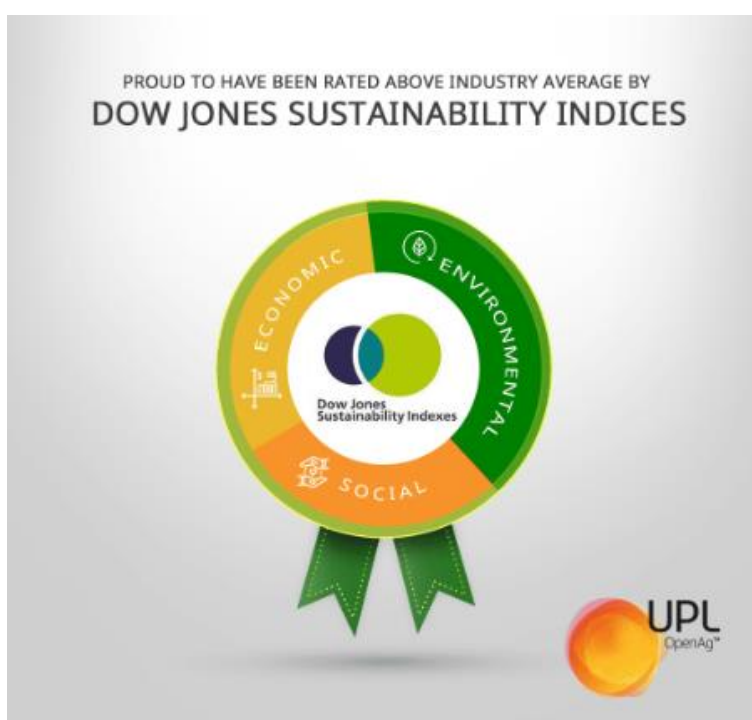
今回の組み入れは、11 月に発表された S&P グローバル 2023 コーポレート・サステナビリティ・アセスメントにおいて、農薬部門で最高得点を獲得した UPL の卓越したパフォーマンスに基づいています。

ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックスは、環境・社会・ガバナンス(ESG)に関する世界的に有名な“持続可能性格付け”の一つです。ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド インデックスには、世界の主要企業の業種別上位 10%が含まれ、持続可能な開発におけるベスト・プラクティスを反映しています。同様に、ダウ・ジョーンズ・エマージング・マーケット・インデックスは、新興市場の大企業 800 社のうち上位 10%を評価するもので、それぞれ優れた ESG の実践が評価されています。

UPL グループの会長 兼 グループ CEO である ジャイ・シュロフは、次のように述べています：

「農薬会社として初めてダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス および ダウ・ジョーンズ・エマージング・マーケット・インデックスに採用されたことを大変誇りに思います。これは、持続可能性を定義し直すという当社の使命において極めて重要な出来事でした。同時に顧客、パートナー、従業員、そして地球にとってより良い未来に向けた当社の継続的な旅を象徴するものです」

UPL が受けた、優れた持続可能性への評価により、同社は世界のトップ企業の仲間入りを果たしました。この評価は、UPL の持続可能な事業慣行へのコミットメントの証であり、長期的な株主価値を優先する投資家のためのクラス最高のベンチマークと一致するものです。



★ 優れた総合殺虫剤「オルトラン」！「オルトラン® 愛されて50年キャンペーン」実施中！

2023年10月に、国内での初登録から50年を迎えた総合殺虫剤「オルトラン」。

ご愛顧への感謝の気持ちを込めて、北興化学工業株式会社と合同で、「オルトラン 愛されて50年キャンペーン」を7月31日(水)まで実施しています。詳しくは、[キャンペーン専用ページ](#)をご覧ください。

オルトラン® 愛されて50年キャンペーン

オルトラン® 水和剤 粒剤 ご購入者を対象に抽選で **200名様に当たる!**

キャンペーン期間：2024年2月1日(木)～7月31日(水)

《《キャンペーン対象商品(例)》》

※下記写真以外でも農林水産省登録番号が該当する商品は対象となります。



オルトラン粒剤

農林水産省登録 第19993号

オルトラン水和剤

農林水産省登録 第19992号



JCBギフトカード
5,000円分

50
名様



150
名様

外れた方にもダブルチャンス!
冊子「菜園の病害虫」



応募は
こちらから

オルトラン50 検索

●対象のオルトラン粒剤（農林水産省登録 第13177号、第19993号）、オルトラン水和剤（農林水産省登録第13175号、第19992号）のご購入後、Webのキャンペーン専用ページからご応募ください。ご応募の際に、購入が分かるレシートやJAの注文書などの画像の添付とアンケート回答をお願いしております。

応募者の中から抽選で50名様にJCBギフトカード5000円分をプレゼント！もし外れてしまってもダブルチャンスで、防除ハンドブック「菜園の病害虫」が150名様に当たります。

ご応募お待ちしております！



地上のムシも 地下のネキリムシも

野菜にも お庭にも！



全対象害虫が泣いた!?

優れた総合殺虫剤「オルトラン」vs スプレー剤 の効果を比較する動画 できました！

1度の使用で長く効くのはどっち？ 詳しくは[動画](#)をご覧ください。



★「アリスタ 春の BS キャンペーン」実施中！

アリスタの化学農薬商品を買って、**必ずもらえる**バイオスティミュラント(BS)賞品をゲットしよう！

弊社では、50周年を迎えた『オルトラン』のみならず、45年以上の実績ある殺虫剤『トクチオン』など、ロングセラーの化学農薬を保有しております。

加えて、新しい農業資材として注目を集めております「バイオスティミュラント(以下 BS)」の国内での普及を精力的に行ってきており、新たに良さを知っていただきたい商品も保有しております。

BSの良さを使って、知って、実感していただけるよう、対象の化学農薬製品を2024年3月から5月に購入された応募者様全員に、BS賞品をプレゼントするキャンペーンを、3月1日(金)より実施しています。

キャンペーン期間 (レシート有効期間) : 2024年3月1日～5月31日

・対象商品のレシートをキャンペーンページでアップロードすると、必ず BS 賞品がもらえます。

※賞品数に上限はございませんので、必ず BS 賞品がもらえます

※お住まいの地域によっては、対象商品の販売がない場合がございますので、ご了承ください。

※期間中、何口でも応募可能ですが、同じレシートでの応募は1回限りとなります。

※賞品の発送は毎月末で締め、翌月中旬以降に発送予定です。

例)3月末までの申込 →4月中旬以降の発送

キャンペーンの詳細は、右 URL または下の画像をクリック www.arystalifescience.jp/haru2024/index.php



オルトラン粒剤 3kg を購入してくださる方、
前頁で紹介した「[オルトラン 愛されて50年キャンペーン](#)」
にも応募できるよ～！！

★ 高温・乾燥対策に画期的な 農業用土壌改良資材(バイオスティミュラント)

「ゼバ (ZEBA®)」 発売のお知らせ



アリスタ ライフサイエンス(株) と、(株)ファイトクロームは、3月1日より バイオスティミュラントの新製品「ゼバ」の販売(出荷)を開始いたしました。

コーンスターチ由来の保水ポリマー「ゼバ」が栽培期間を通じて吸水・保水・給水を繰り返し、植物に必要な水分量を供給し、省力、節水しながら土壌の改良に寄与します。

作物を選ばずにお使いいただける「ゼバ」の施用により、土壌の保水力アップ、灌水量の節減、根圏環境の健全化、肥料の利用効率アップなどのベネフィットが見込めます。

ひいては、発芽率の向上、初期生育の充実、しおれ抑制、収穫物の品質改善などに貢献します。

また、天然物由来原料なので土中で自然分解されるので、環境にやさしく安心です。

これからの高温・乾燥対策に「ゼバ」をお使いください。

ZEBA (ゼバ) の特長

- ZEBA (ゼバ) は天然物由来の吸水性ポリマーです。
- 粒子は吸水、保水、給水を繰り返すことで栽培期間を通じて植物に必要な量の水分を供給します。
- 粘着性の高い粒子がエアポケット (空気間隙) を作り、土壌に団粒構造が形成されます。
- 天然物由来原料なので分解性に優れ、自然環境への負荷を軽減できます。
- 成分にナトリウムを含まないため、塩害の要因になりません。

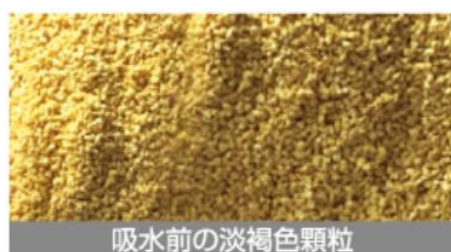
【使用方法】 播種前や定植前に、土壌や培土に十分に混和してください。

施用後は、なるべく早く灌水をしてください。

- ・ 種子の下 2~15cm 程度の深さに施用するのが理想的です。
- ・ 灌水位置、肥料の投入位置に近い場所に混和してください。
- ・ 肥料と混合して散布することも可能です。

詳しくは <https://www.arystalifescience.jp/catalog/zeba.php> または、

ゼバ

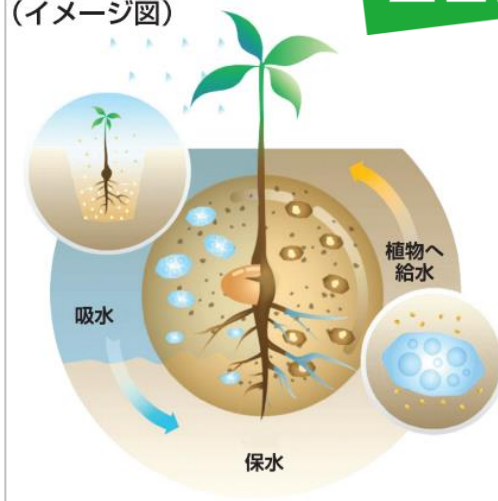


吸水前の淡褐色顆粒



吸水して膨張した顆粒

ZEBAの土壌中のはたらき (イメージ図)



<適用拡大のお知らせ>

☆ 天敵殺虫剤『スワルスキープラス UM』が適用拡大しました。



【変更内容】

- ① 作物名「なし(露地栽培)」適用病害虫名「ニセナシサビダニ」を追加する。
- ② 作物名「豆類(種実)(露地栽培)」及び「いも類(露地栽培)」を「野菜類(露地栽培)」に、作物名「豆類(種実)(施設栽培)」及び「いも類(施設栽培)」を「野菜類(施設栽培)」にそれぞれ統合する

【適用害虫と使用方法】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スワルスキーカブリダニを含む農薬の総使用回数
なし (露地栽培)	ニセナシサビダニ	4パック/樹 (約 1000 頭)	発生直前 ～ 発生初期	-	放飼 放飼後の厳冬期の 月平均気温が 10℃ を下回る地域	-
野菜類 * (露地栽培)	アザミウマ類	100～200 パック /10a (約 25000～ 50000 頭)				
野菜類 * (施設栽培)	アザミウマ類 コナジラミ類 チャノホコリダニ					
果樹類 (施設栽培)	ミカンハダニ	1～4 パック/樹 (約 250～1000 頭)			放飼	
マンゴー (施設栽培)	チャノキイロアザミウマ					
花き類・ 観葉植物 (施設栽培)	アザミウマ類	20 パック/10a (約 50000 頭)				

* 「スワルスキープラス UM(パック)」の登録上の適用作物は『野菜類』ですが、30 消安第 6281 号のとおり『豆類』、『いも類』を含んだ登録となっています。

☆『マイコタール』が適用拡大し、微生物殺虫殺菌剤になりました！



【変更内容】

・作物名「野菜類(施設栽培)」に適用病害虫名「うどんこ病」、使用時期「発病前～発病初期」を追加する。

【適用病害虫と使用方法】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	パーテシウム レカニを含む農薬の総使用回数
野菜類 (施設栽培)	うどんこ病	1000 倍	150～300ℓ /10a	発病前～ 発病初期	-	散布	-
	コナジラミ類			発生初期			
マンゴー (施設栽培)	チャノキイロ アザミウマ		200～700ℓ /10a				
きく (施設栽培)	ミカンキイロ アザミウマ		150～300ℓ /10a				
トルコギキョウ (施設栽培)							

使用上の注意事項に以下を追加します。

●病害に対しては予防効果が主体なので、発病前～発病初期に7日程度の間隔で散布すること。

☆ 除草剤『セレクト乳剤』が適用拡大しました。



【変更内容】

- ・ 作物名「おうぎ」及び、「とうき」を追加する。
- ・ 作物名「だいおう」の本剤の使用回数 及び、クレトジムを含む農薬の総使用回数を「15 回以内(1 年間に 3 回以内)」へ変更する。
- ・ 作物名「甘草」の本剤の使用回数を「9 回以内(1 年間に 3 回以内)」へ変更する。

【適用雑草と使用方法】

※追加・変更する作物のみ抜粋

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	クレトジムを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
おうぎ	一年生 イネ科 雑草	雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) 収穫 30 日前まで	50~ 75mℓ /10a	100ℓ /10a	4 回以内 (1 年間に 2 回以内)	雑草茎葉 散布 又は 全面散布	4 回以内 (1 年間に 2 回以内)
とうき					6 回以内 (1 年間に 2 回以内)		6 回以内 (1 年間に 2 回以内)
だいおう		雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) 収穫 14 日前まで	75mℓ /10a		15 回以内 (1 年間に 3 回以内)		15 回以内 (1 年間に 3 回以内)
甘草					9 回以内 (1 年間に 3 回以内)		9 回以内 (1 年間に 3 回以内)

バイオスティミュラントとは？ 分かりやすく説明すると。。

日本バイオスティミュラント協議会 技術局長 和田 哲夫

バイオスティミュラントをもっとも簡潔に表現すると、「植物の本来もっている能力を、ストレスから守り十分に発揮させる物質および微生物など」といえます。

また、その結果、「収量、品質をアップする」ことが期待できる。ということです。

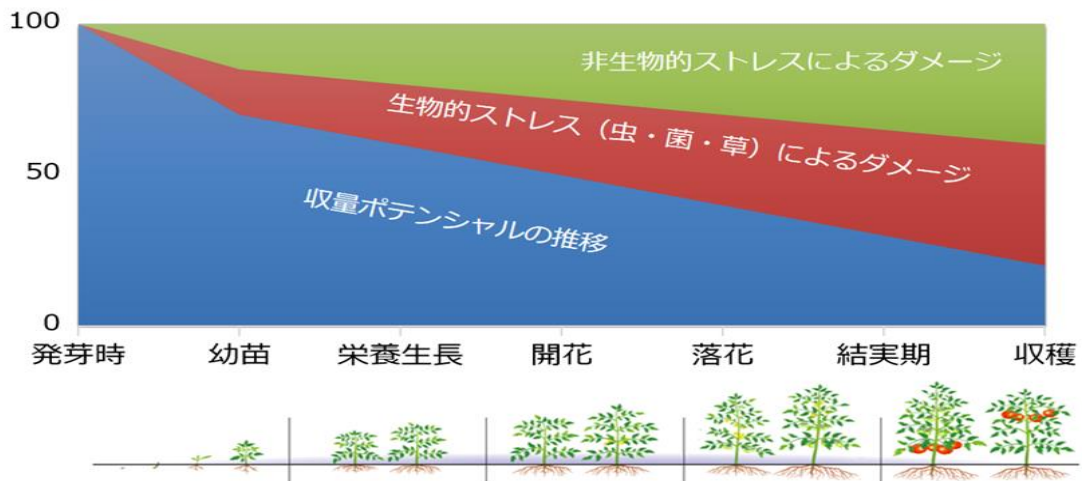
但し、ここで注意することとして、収量アップ、品質アップは必ず約束されたものではありません。

ストレスがない場合には、無処理区との差は、ほとんどありません(米国カリフォルニア大学の試験結果などが示している)。ただ作物栽培において、非生物学的ストレスが全くないというようなシーズンは稀ですので、良い年以外では、バイオスティミュラントの効果は体感できるものと考えられます。

また、言うまでもありませんが、農薬ではないので、病気や、害虫、雑草などへの効果は直接的にはありません。

バイオスティミュラントと農薬の植物への影響については、よく使われる次の図を見ると理解できると思います。この緑の部分がバイオスティミュラント関連の減収部分です。

(収量レベル)



バイオスティミュラントの非生物学的ストレスに対する効果の概念図

(技術局：和田)

つまり、作物の減収は病虫害、雑草によるもの以外に非生物的な要因、具体的には 高温低温、洪水、干害、土壌状態など環境からのストレス（非生物ストレスともいう）による減収量が、かなり多いということです。

さて、バイオスティミュラントのことはよく耳にするが、どのような製品を使ったらいいのか、わからないという質問をされることが多くあります。これに対する答えとしては、まず世界で、どのようなバイオスティミュラントが利用されているかというデータが参考になると思います。

世界的にも日本でも、量、金額的に多く使われているものは、

1. フミン酸、フルボ酸などの腐植物質。動植物の遺物が長い年数をかけて分解してできた物質
2. 海藻抽出物。これは海外からの輸入が多い
3. アミノ酸、タンパク質など
4. 微生物そのもの
5. その他 ミネラル、植物抽出物、新規物質など

ただし、このように書いても、ではどんな製品がいいのか ともよく聞かれます。

本稿は「アриста通信」の原稿ですので、アристаの製品を中心に紹介、推薦します。

なお、バイオスティミュラントは現在まだ同様の製品ごとの比較試験などはあまり存在せず、無処理区に対しての効果データがほとんどですので、どの製品が一番優れているかという事実にはまだ行きつけないというのが現状です。なんども繰り返しますが、ストレスがない場合の試験では、無処理区があっても差異がでないことを肝に銘じてください。

1. 腐植物質：多くの製品があり、[日本バイオスティミュラント協議会\(JBSA\)のHP*](#)をご参照ください。
アズミンが有名です。土壌中のミネラルを可溶化する働きがあります。ストレス耐性も向上させます。
2. 海藻抽出物：「[ルーター](#)」、「[タフプラントシリーズ](#)」収量アップ、品質向上 ケルパックなども有名です。
ストレス耐性アップ。
3. アミノ酸など：製品が多いので、[JBSA の HP*](#) を参照ください。タンパク質分解物は塩害や干害からの被害を軽減します。また分解物であるアミノ酸はミネラルの有効利用に役立ちます。
4. 微生物製品：「[トリコデソイル](#)」収量、品質アップ。詳しくはアриста HP まで。
土のなかのアルミニウムなどと反応してしまい、植物が使えなくなってしまったリン酸成分を、微生物製品である本剤の成分であるトリコデルマ菌だけでなく、シュードモナス菌、菌根菌製品(AMS など)等が利用できるような引き離してくれる効果（可溶化酵素を分泌する）があります。
5. その他：植物抽出物製品である「[ハーモザイム](#)」はコーンからの抽出物ですが、収量アップ、品質向上に使用できます。多くのバイオスティミュラントには、根の伸長や栄養分の輸送にも好影響を与えるものがあります。植物の体温を下げる製品「[すずみどり](#)(株ファイトクローム)」など。コーンスターチ由来の保水材「[ゼバ](#)」は新製品です。収量アップにつながります。

バイオスティミュラントの製品は、空の星とまではいいませんが、非常に多くの種類があります。どれを選べばいいのか、悩むのは当たり前です。効果試験結果をもっている会社の製品を使うことが重要です。

現状では、農薬の試験のように無処理区、対照区など 3 区ずつ作り試験したようなデータを見ることはまれですが、今後増えていくこと期待します。あくまでもストレスがある場合の試験結果であれば、参考になると考えられます。ただしストレスがなかった年での試験結果では、その製品の効果を理解することは困難であるかもしれません。

ヨーロッパでもより精度の高くなる試験を実施するという方向で進んではいますが、まだまだ実施している会社はごく少ないと、昨年 12 月イタリアのミラノで開催されたバイオスティミュラント会議で取材した結果でした。しかし年々バイオスティミュラントの利用、売り上げは伸びています。この背景には、使用する肥料の量を減らすこと、「農場から食卓まで (Farm to Fork)」という欧州委員会の肥料農薬削減の政策によることもあるようです。

もちろん有機栽培の拡大とも関係があるようですが、その事実については現在調査中です。

(ストレスについての考察は、カリフォルニア大学 デービス校 パトリック・H・ブラウン教授の講演録、文献などを参考にしています)

<さいごに>

弊社製品のお問い合わせは、お近くの JA、小売店などをお願い致します。

また、弊社開設のホームページにも IPM 関連情報が掲載されていますので、あわせてご覧ください。

(<https://www.arystalifescience.jp/>)

『アриста通信』は、おかげさまで第58号となりました。

皆様からのご質問、ご意見、ご感想をお待ちしております。

また、今回が初めての配信で、バックナンバーをご希望の方、今後の配信をご希望されない場合も、弊社ホームページよりお問い合わせフォームをお選びの上、お気軽にお送りください。

<https://www.arystalifescience.jp/ipm/ipmtsuushin.php>

長らく季刊誌として1、4、7、10月末に発行していましたが、第57号より紙面の充実をはかりつつ 7、12、3月初めの年3回の発行となりました。

次回『アриста通信』第59号は、2024年7月の発刊を予定しております。

引き続きのご愛読をよろしくお願い申し上げます。

アриста 通信

発行人： マーケティング本部長 田中 栄嗣
編集責任者： マーケティング本部 技術顧問
和田 哲夫
発行者： アриста ライフサイエンス(株)
住 所： 〒103-0027
東京都中央区日本橋一丁目 4 番 1 号
日本橋一丁目三井ビルディング 19 階
電 話： 03-5203-9350
発行日： 2024 年 3 月 7 日

■ 編集後記

バイオスティミュラントは、植物のストレスを少なくしてくれる物質や微生物などのことです。

なぜストレスを減らすことができるのか？

いくつかの理由が、あるようですが、生物体内の、活性酸素を減らしてくれるというのも一つの効果です。

活性酸素は、動植物の細胞を傷つけることが知られているからです。

地球のストレスとも言える、地震、噴火、戦争などなどが、何らかのバイオスティミュラントで緩和されることを祈るばかりです。

(哲生記)